

英語

◆大設問ごとの内容と結果◆

大設問	主な出題内容	設問数	配点	受検者平均点	受検者得点率(%)
問 1	リスニング	7	21	12.87	61.30
問 2	語彙（適語選択）	3	6	3.40	56.63
問 3	文法（適語選択）	4	12	6.08	50.68
問 4	文法（語順整序）	4	16	5.83	36.45
問 5	資料の内容をふまえた英作文	1	5	0.90	18.00
問 6	スピーチ文の読解	3	15	9.26	61.73
問 7	資料を含む文の読解	2	10	5.60	56.00
問 8	会話文の読解	3	15	7.56	50.37
		27	100	51.50	—

（「令和7年度神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査の結果」より作成）

（参考：合格者平均点51.4）

◆概要◆

問5の英作文が1文記述になったこと以外は昨年と同じ傾向でした。全体を通して語彙のレベルは難度が高い状態が続いています。県の出題のねらいは「会話や説明を聞いて概要や要点を的確に捉える力、語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を適切に活用する力、英文を読んで理解したことに基づいて正確に書く力、英文や資料から必要な情報を読み取る力、英文を読んで概要や要点を的確に捉える力」を総合的にみることであります。読解問題の総語数は1780語[1817語]（以下〔〕内は昨年度）で、昨年度から微減しました。速読力・精読力・思考力をしっかり訓練することが必須です。

◆大設問ごとの出題傾向と難度◆

- 問1：(ウ)No. 2では、Questionに対する答えの文を選ぶ問題から、放送内容の要点を捉えてふさわしい一文を選択する問題に変更されました。
- 問2：1文から対話文形式の適語選択問題になりました。語彙のレベルは高難度のものが多く、教科書で扱われている英文を正しく理解しておく必要があります。正答率は3問とも50%台でした。
- 問3：(ア)は、主語・動詞と修飾語句の関係を正しく理解する必要があります。複数の文法知識が求められました。適語選択問題としては高難度の問題で、正答率は23.8%でした。
- 問4：対話の場面をイメージし、文脈にふさわしい英文を組み立てる問題です。(エ)は、接触節、不定詞、第5文型などの複数の文法知識の活用を必要とする難問でした。正答率は27.3%でした。文法知識や重要表現を自分の言葉で説明できるようになっていることが望まれます。
- 問5：3枚の絵から場面にふさわしい表現を考えて英文を書く問題です。空所の次の語句につながるように文を埋める形式から、1文記述になりました。間接疑問の知識に加え、指定語のworksが「(機械などが)機能する」という意味で使われていることを理解しておく必要があります。高難度の問題でした。
- 問6：スピーチのテーマは「身近にいる相談できる相手について」で、総語数は603語[543語]でした。(ウ)の内容一致問題では、選択肢の中に使われている文法や表現を理解した上で、本文内容の言い換え表現を正しく読み取る力が求められました。
- 問7：英文と資料を照合して読み取る問題で、総語数は458語[614語]でした。作業を通して課題を解決する力が求められました。(イ)は、チラシと問合せフォームを照らし合わせ、必要な費用を導き出す問題でした。正解に辿り着くための情報が点在しており、正確で素早い情報処理力が必要でした。
- 問8：会話文のテーマは「栄養物の不安定な利用機会問題に対する解決策」で、総語数は719語[660語]でした。(イ)はsimilarの意味を知らないで正解できない問題でした。(ウ)の内容一致問題の正答率は33.2%で、読解問題の中で最も難しい問題でした。問6と同様に、言い換え表現を正しく読み取り、本文の内容と照らし合わせる力が必要とされました。